



若駒祭（文化祭）には、多くの皆様のご来場いただきありがとうございました。

本校の若駒祭は、玉名高校全日制・玉名高校定時制・玉名高校附属中学校、そして、同窓会、育友会（PTA）が協力して開催される一大イベントです。

中学生は、合唱、弁論大会、日頃の総合的な学習の時間の発表を行いました。写真は、合唱と校内手帳甲子園です。



弁論大会では、中学生（1名）、高校全日制（2名）、高校定時制（1名）が、それぞれの思いを述べました。中学生代表は、3年塚本さんは、次のように述べました。

どんどんと悪化していく環境問題。この大きな問題に立ち向かったのはスウェーデンの少女でした。16歳の彼女は去年の夏、たった一人で地球温暖化の危機を訴えるためにストライキを始めました。それがどれほど勇気のいることだったのか、想像もつきません。そして、この勇気は多くの人々を引き寄せました。今年の2月、たった一人で始めたストライキは7,500人を超える若者が集まる、とても大きなものになりました。彼女の行動は世界を救うための一歩となったのです。

このことを新聞の記事から知った私は強い衝撃を受けました。それと同時に自分への恥ずかしさと悔しさも湧いてきました。同世代である彼女と自分を思わず比べてしまったからです。自分が今まで、彼女のように行動しようと試みたことはあったかと自分の小ささに気づかされました。（この後、スウェーデンの少女の行動とそれに対する自分自身の心の動きを述べ、次のように結んでくれました。）

私たちの世代にとって、これらの問題に関して考えることは難しいことであり、目を背けてしまいがちです。でも、これらと真剣に向き合い解決に向かわせようと努力することは、自分たちの輝かしい未来を守ることと同じです。どうか他人事と思わないでください。いつの間にか無関心になってしまっていることに気がついてください。そして、行動しましょう。小さな事でも大きな事であっても、何かを変えるための一歩であることに違いありません。



中学生は、定時制の“手作りスノードーム”に参加したり、同窓会の展示会場では同窓生の方と“将棋”を指したりと、オール玉高の文化祭をいっぱい楽しんでいました。

中学校では、学芸発表会（10/13（日）玉名市民会館）での合唱コンクールへ向けて、朝夕の練習が始まりました。各クラスでの“協働”をまたまた体験中です。

2019.9.26 副校長 山部